MITSUBISHI MOTORS
GENUINE PARTS

お　客　様　へ

ＭｉＥＶ　ｐｏｗｅｒ　ＢＯＸ ＭＺ６０４７７５
取　扱　説　明　書

このたびは「ＭｉＥＶ　ｐｏｗｅｒ　ＢＯＸ」をお買い上げ頂きまして、有難うございました。
常に最良の状態でご使用して頂くために、本取扱説明書をよくお読み頂き、内容をご理解されてから、正しくご使用下さい。
なお、本取扱説明書は大切に保管しておいて下さい。

はじめに

1. 本取扱説明書には安全・快適にお使い頂くために、お守り頂きたいこと・知っておいて頂きたいことを、次のマークで表示しています。

   ⚠警告　⚠注意　は、安全にお使い頂くために、必ずお守り下さい。
   ⚠警告　は、守らないと死亡や重大な傷害につながる恐れがあります。
   ⚠注意　は、守らないと傷害や事故につながる恐れがあります。
   アドバイス　は、快適にお使い頂くために、知っておいて頂きたいことを記載しています。

2. 本商品の使用上のご不明な点がございましたら、三菱自動車販売店にご相談下さい。

3. 本取扱説明書の記載事項を守らなかったために、発生した不具合につきましては責任を負いかねる場合があります。
   また、本商品の電力供給の低下や自動停止などにより生じた損害に、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承下さい。

4. お使いになる前に次の内容を必ずお読み下さい。また、お使いなる時は本取扱説明書を確認しながら、本商品および車両の操作をして下さい。

⚠警告

- お子様には絶対に操作させないで下さい。
- 当社電気自動車 MiEV シリーズ以外には接続しないで下さい。
- 分解・改造は、絶対に行わないで下さい。
- 雨や雪がかかる場所、湿気の多い場所で使用しないで下さい。濡れた手での操作は絶対に行わないで下さい。
- 周囲の安全を確認して、他の車両や通行者の邪魔にならない場所で使用して下さい。
- 電力会社からの電気配線に接続しないで下さい。
- 医療機器の電源として使用しないで下さい。
- 体内植込み型の心臓ペースメーカーや除細動器などの医療機器を使用されている方は、本商品に近づかないで下さい。使用中に発生する本商品の微弱な磁気が医療機器の作動に影響を及ぼす恐れがあります。
- 本商品を装着したまま、走行しないで下さい。
- 本体やケーブルに重大な傷や破損を発見した際は、絶対に使用しないで下さい。
- 日本国内での使用に限ります。海外では使用しないで下さい。

⚠注意

- 異常表示が点灯、または非常停止ボタン使用後に主電源を再投入しても正常に動作しない場合は、三菱自動車販売店にご相談下さい。
- 車にて搬送する際は本商品が落下／転倒／破損等しない場所に積載し、強い衝撃を与えないようにして下さい。
- 本商品を持ち運びする際には、運搬用取手を確実に持ち、落下など衝撃を与えないようようご注意下さい。
  事故や機器の故障が起こる原因となります。

アドバイス

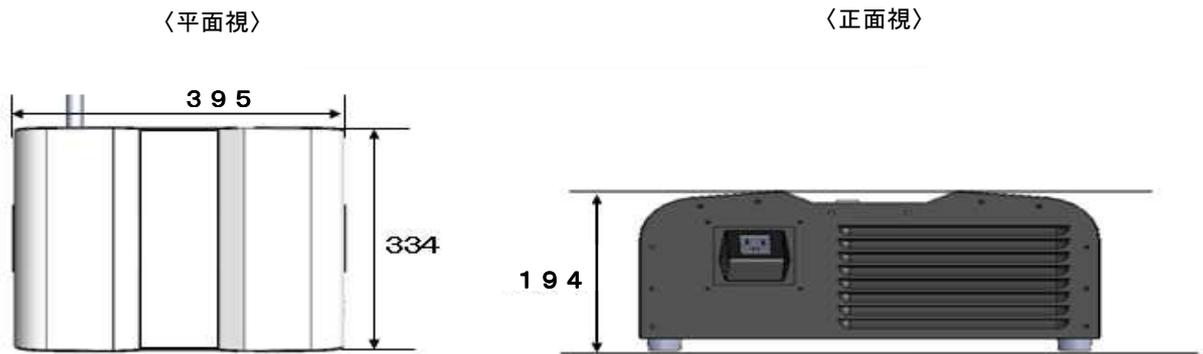
車両の普通充電と本商品の同時使用はできません。
（急速充電口に接続した本商品の作動が優先されるため、車両の普通充電は作動しません。）

三菱純正用品

J
２０１２．０４

【　目　次　】

［ 外形図 ］

〈平面視〉　〈正面視〉

寸法：３３４　×　３９５　×　１９４　（mm）
重量：１１.５ｋｇ（本体、給電ガン、アクセサリーソケットケーブル含む）

［　仕様　］

連続最大出力	公称 1500W
定格出力電圧	AC100V±10V
周波数(変更可能)	50/60Hz
入力電圧範囲	200～370V
動作温度範囲	-30～60℃
保存温度	-40～85℃

１. 商品説明

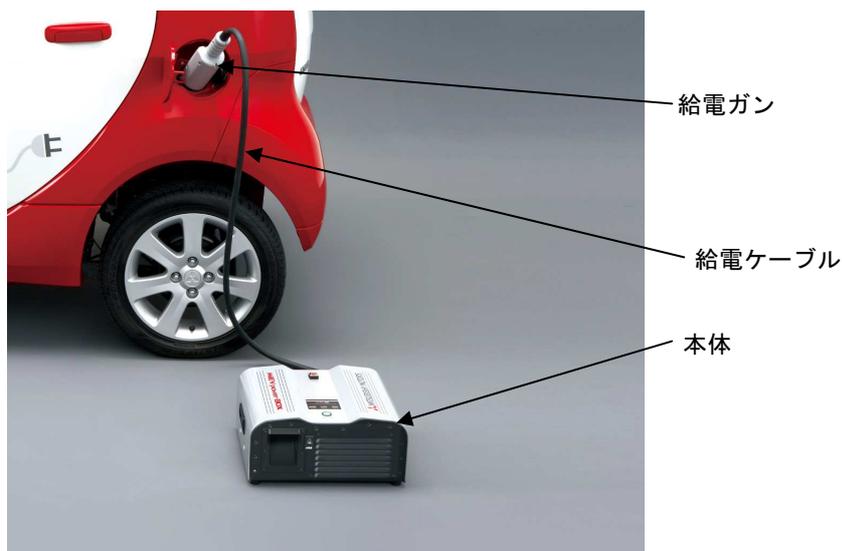
1）当社電気自動車 MiEV シリーズ（急速充電機能付きの車両にに限る）において、車両の駆動用バッテリーより

ＡＣ１００Ｖの電力を供給するための１５００Ｗ電源給電装置（＊）です。

＊ 使用環境、使用電気製品によっては１５００Ｗを供給できないことがあります。

2）最大出力１５００Ｗの電力で、約５～６時間（＊）の電気製品の使用が可能です。

＊１６．０ｋＷｈ仕様車満充電時。１０．５ｋＷｈ仕様車の場合は約３～４時間となります。

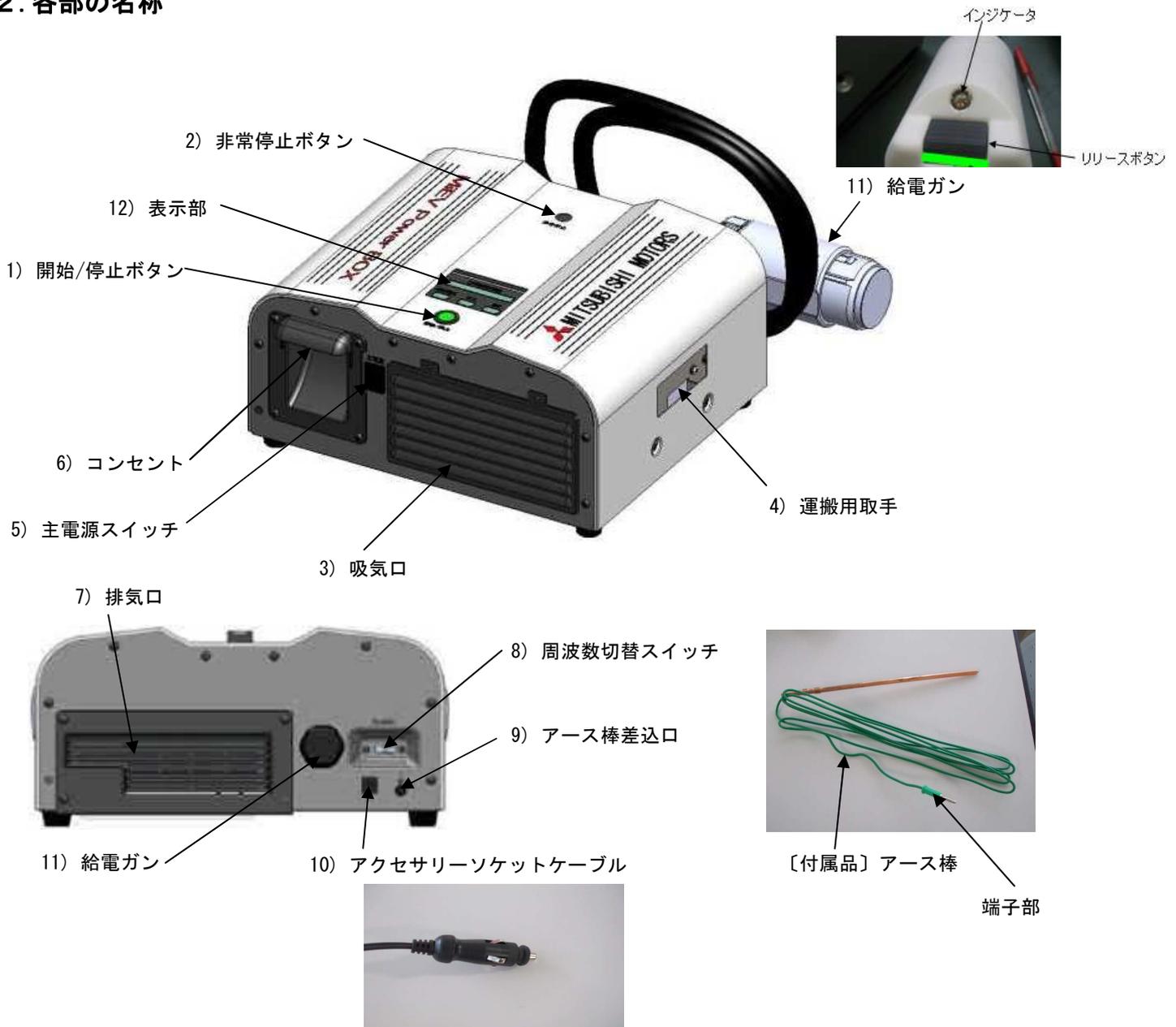
3）本商品はバッテリーではありません。（蓄電機能はありません。）

【お使いになられる前に】

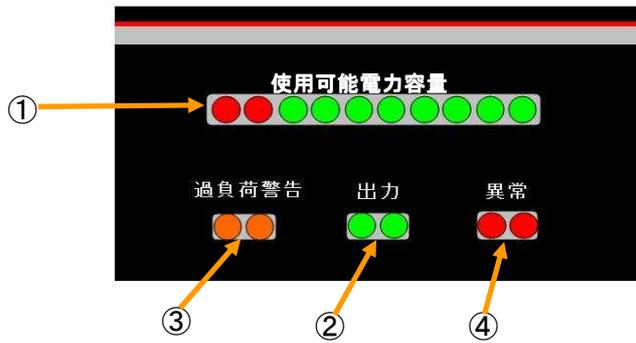
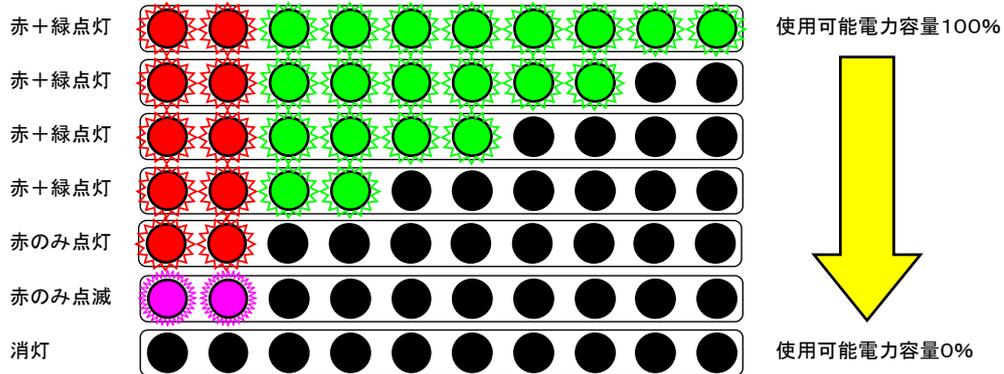
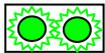
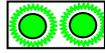
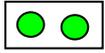
・ 本商品を使用するにあたり、車両の年式によっては販売会社にて車両コンピューターのソフトウエアをバージョンアップする必要があります。

・ バージョンアップに伴い、下記項目についても仕様変更される場合がありますが、ご了承下さい。

(1) 航続可能距離表示の信頼性向上。
(2) 回数課金型の急速充電器に対応し、1回の急速充電で充電する量を増大。
(3) 新たに市場投入が始まった低出力の急速充電器への対応として、充電時間が長くなっても車両側から充電を停止しないよう変更。
(4) メインとサブ２つあるアクセルペダルポジションセンサの切替が頻発すると、駆動トルクに僅かなむらが生じることがあるため切替判定条件を変更。

注）仕様変更内容は、車種・年式により異なることがあります。
詳細は三菱自動車の販売店にお問い合わせ下さい。

２．各部の名称

1） 開始/停止ボタン　･･･　ＡＣ１００Ｖの供給開始/供給停止を行います。
2） 非常停止ボタン　･･･　動作の緊急停止を行います。
3） 吸気口　･･･　冷却するための空気を取り込みます。
4） 運搬用取手　･･･　移動させるための取手です。側面の左右にあります。
5） 主電源スイッチ　･･･　起動させるための電源の供給、供給/遮断を行います。
　＊　－：ＯＮ、〇：ＯＦＦとなります。
6） コンセント　･･･　使用する電気製品の電源プラグを差し込みます。
7） 排気口　･･･　内部の熱を排気します。
8） 周波数切替スイッチ　･･･　供給する電力の周波数（５０Hz⇔６０Hz）を切り替えます。
9） アース棒差込口　･･･　付属品のアース棒の端子部を差し込みます。
10） アクセサリーソケットケーブル
　･･･　車両から起動用電源を取り出すためのケーブルです。
11） 給電ガン　･･･　車両の駆動用バッテリーから電力を取り出すためのガンです。
　＊　リリースボタン：給電ガンを車両から取り外す時に押します。
　　　インジケータ　：ロックが掛かっている間は赤く点灯します。

12）表示部　　　　　　　・・・　動作状況を示します。

①　使用可能電力容量　：　電力供給に使用できる車両の駆動用バッテリー容量の目安を表示しています。

②　出力　　　　：　主電源スイッチの状態および出力状態を示しています。

（ ゆっくり点滅時 ）：　「主電源スイッチ」がＯＮになっている状態です。

（ 早く点滅時 ）　：　ＡＣ１００Ｖ電力供給準備中もしくは終了準備中の状態です。

（ 点灯時 ）　　　：　ＡＣ１００Ｖが供給可能の状態です。

③　過負荷警告　：　使用している電力量が大きいと点灯・点滅します。

（ 点滅時 ）　：　使用している電力量が１２００Ｗを超えると点滅します。

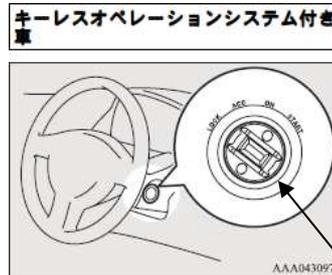
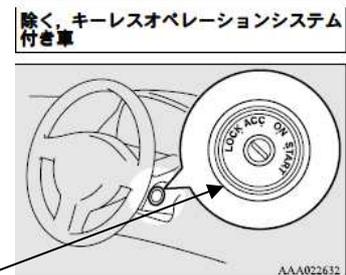
（ 点灯時 ）　：　使用している電力量が１５００Ｗを超えると点灯します。

④　異常　　　　：異常を検出したら点灯します。

３．使用方法

1)．準備　　・・・　本商品を起動する前の準備をします。

① 車両を平らな場所に駐車し、駐車ブレーキをかけ、セレクタレバーが「Ｐ」、車両のパワースイッチが「ＬＯＣＫ」、メーター内のＲＥＡＤＹ（走行可能）表示灯が消灯していることを確認して下さい。

セレクタレバー

パワースイッチ

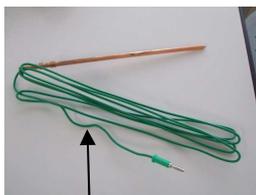
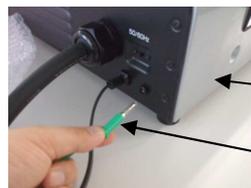
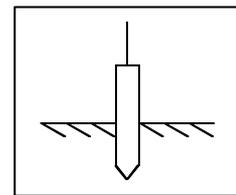
⚠警告

- 車両の駐車ブレーキがかかっていない場合、及びセレクタレバーが「Ｐ」でない場合、車両が無人で動き出す恐れがありますので、確実に操作して下さい。
- 急な坂道での駐車は避けて下さい。
- 周囲の安全を確認して、他の車両や通行者の邪魔にならない場所で使用して下さい。

② 本商品を、平らな硬い場所に置いて下さい。

⚠警告

- 本商品を立てて設置しないで下さい。転倒し故障する恐れがあるだけではなく、思わぬ事故を引き起こす恐れがあります。
- 枯草や紙くず、油など燃えやすいものの上や近くに設置しないで下さい。
- 吸気口・排気口を塞がないで下さい。故障の原因になるだけではなく、火災を引き起こす恐れがあります。

③ 本商品に付属のアース棒端子部を本体へ差し込み、アース棒をアースさせて下さい。

アース棒（付属品）

アース棒の端子部差込

使用例（大地に刺す場合）

⚠警告

- アース棒の先端は非常に尖っていますので、取扱には十分注意して下さい。使用しない時は、キャップをつけて保管して下さい。
- アース棒は、アース以外の用途に使用しないで下さい。

⚠注意

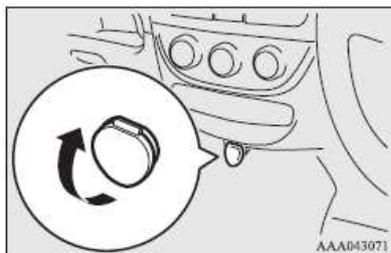
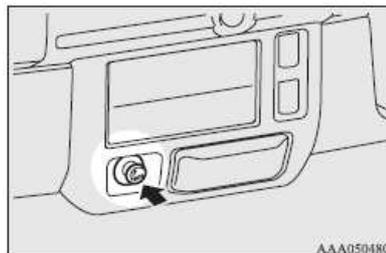
- 使用する電気機器のコンセントにアース端子がある場合は、本商品を必ずアースして下さい。
- 使用する電気機器がアース線をアースするように指定されている場合は、本商品も必ずアースして下さい。

2). 装置の起動　　・・・　本商品を起動し、電力供給を開始します。

①　本商品の主電源スイッチがＯＦＦになっているのを確認して下さい。

アドバイス

・ 多くの製品機器は周波数５０／６０Ｈｚどちらでも使用できますが、使用する電気製品に指定がある場合は、周波数切替スイッチを指定の周波数に合わせて使用して下さい。
・ 周波数の切替操作は、主電源が入っていない状態で行って下さい。

② 車両のアクセサリーソケットまたはシガレットライターソケットに、本商品のアクセサリーソケットケーブルをしっかりと差し込んで下さい。

〈i-MiEV の場合　アクセサリーソケット〉

〈MINICAB-MiEV の場合　シガレットライターソケット〉

注意

・ アクセサリーソケットケーブルは、ドアや窓に挟まないようにして下さい。断線する恐れがあります。
・ アクセサリーソケットケーブルを落下させたり、乱暴に取り扱わないようにご注意下さい。
・ アクセサリーソケットケーブル、給電ガン及びケーブルは、本体から分解できません。
　無理に引っ張ると故障の原因となります。

③ 給電ガンを正しく持ち、車両の急速充電口にカチッと音がするまで、しっかり差し込んで下さい。

給電ガンの持ち方

注意

給電ガンは正しく持って差し込んで下さい。車両との間に手を挟んだり、手が滑って怪我をする恐れがあります。

注意

・ 給電ガンを落下させたり、乱暴に取り扱わないようにご注意下さい。
・ 絶対に無理に引っ張ったり、揺すったりしないで下さい。車両または本商品の故障の原因となります。

注意

給電ガンが正しく差し込まれていない状態で給電開始を行った場合、本商品の異常表示ランプ及び車両メーター内のパワーユニット警告灯が点灯します。再度給電を行う場合は、「３.使用方法」に従って操作を実施して下さい。

パワーユニット警告灯

アドバイス

給電ガンのリリースボタンが上がっていると、給電ガンが正しく差し込まれている状態です。
リリースボタンが上がっていない場合は、リリースボタンを押して一旦給電ガンを外し、正しく差し込み直して下さい。

④ 車両のパワースイッチを、ＡＣＣにして下さい。

⑤ 本商品の主電源スイッチをＯＮにして下さい。

アドバイス

主電源スイッチをＯＮにすると、セルフチェックのため一旦表示部の全ての表示が点灯し、数秒後に消灯します。正常に完了すると 表示部の出力インジケータがゆっくりとした点滅になります。

⑥ 表示部の出力インジケータがゆっくり点滅していることを確認し、開始/停止ボタンを押して下さい。

⑦ 表示部の出力インジケータが点灯に変わり、電力が供給可能状態になったことを確認して下さい。

アドバイス

開始／停止ボタンを押すと、電力の供給開始処理が始まり、表示部の出力インジケータが早い点滅に変わります。処理が終わると、表示部の出力インジケータが点灯に変わり、電力供給が可能な状態になります。

⑧ 車両のパワースイッチを、ＯＦＦにして下さい。

アドバイス

車両のパワースイッチをＡＣＣのまま長時間使用すると、車両の補機用バッテリーが上がり、車両が起動できなくなる恐れがあります。

⑨ 車両から、本商品のアクセサリーソケットケーブルを取り外して下さい。

⚠注意

アクセサリーソケットケーブルはプラグを持って取外して下さい。ケーブルを引っ張って外すと断線する恐れがあります。

⑩ 使用する電気製品の電源スイッチがＯＦＦであることを確認し、電気製品の電源プラグを本商品のコンセントに接続して使用を開始して下さい。

アドバイス

電源プラグは、右図のようなタイプが使用可能です。

アース端子無

アース端子付

アドバイス

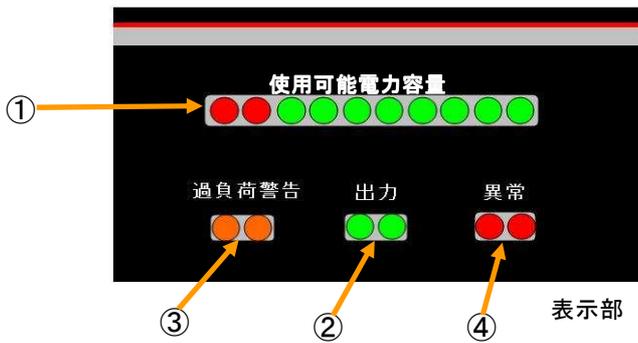
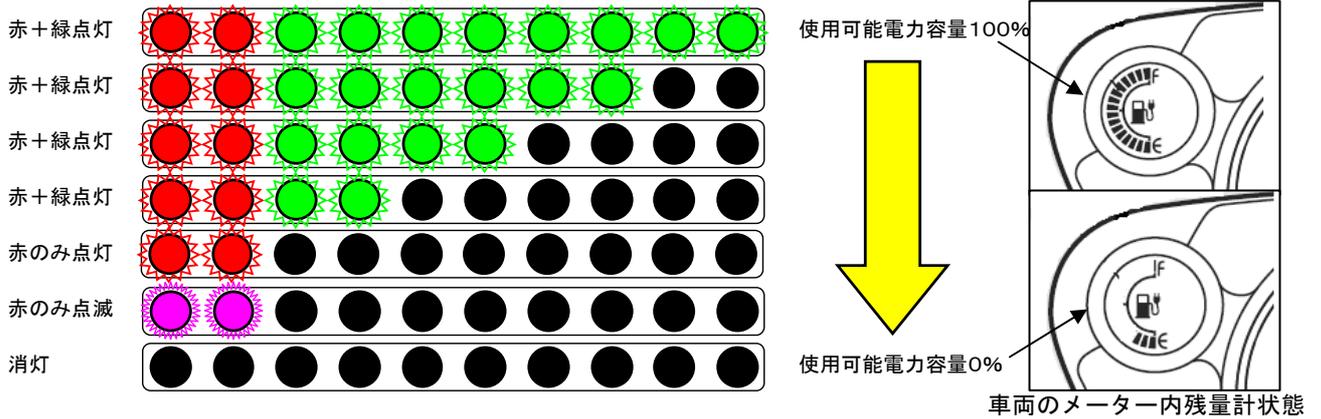
テーブルタップ(延長コード)をご使用の場合、テーブルタップが使用できる消費電力の合計を超えない範囲で、電気製品を接続して下さい。

アドバイス

・ 起動手順に従って操作しても正常に作動しないときは、「６．故障かな？と思ったら」をご覧になり、本商品が正しい状態になっているかを確認して下さい。
・ ご確認頂いても正常に作動しないときは、お近くの三菱自動車の販売店で点検を受けて下さい。

3)．使用中の表示部の見方　･･･ 表示部を確認しながら、ご使用下さい。

① 使用可能電力容量　：　電力供給に使用できる車両の駆動用バッテリー容量の目安を表示しています。

車両のメーター内残量計状態

アドバイス

- 赤のみ点灯／赤のみ点滅時は、供給できる駆動用バッテリーの電力が残り僅かな状態です。
  消灯時は、供給できる電力がありません
- 使用後も走行可能なように車両のメーター内の駆動用バッテリー残量計の目盛が３つ(駆動用バッテリの残量約２０%)を目安に、使用可能電力容量が０%となり、自動停止します。
- 使用後に車両を長距離走行する必要がある場合は、 車両のメーター内の駆動用バッテリー残量計を確認しながら、余裕をもって本商品を停止して下さい。

② 出力　：　主電源スイッチの状態および出力状態を示しています。

（ ゆっくり点滅時 ）：　主電源スイッチがＯＮになっている状態です。

（ 早く点滅時 ）　：　ＡＣ１００Ｖ電力供給準備中もしくは終了準備中の状態です。

（ 常時点灯時 ）　：　ＡＣ１００Ｖが供給可能の状態です。

③ 過負荷警告　：　使用している電力量が大きいときに点灯・点滅します。

（ 点滅時 ）　：　使用している電力量が１２００Ｗを超えると点滅します。

（ 点灯時 ）　：　使用している電力量が１５００Ｗを超えると点灯します。

アドバイス

- 過負荷警告が点灯した場合は、それ以上電気製品を接続しないで下さい。使用している電力が大きく上限を超えている場合など、状況によっては自動的に停止することがありますが、故障ではありません。
- 電気製品の種類によっては、消費電力が１５００Ｗ以下であっても、起動時に大きな電流が流れ、瞬間電力が１５００Ｗを超える場合があります。その場合保護機能が働き、自動的に停止することがありますが、故障ではありません。装置の起動手順に従い、再度主電源をＯＮにして下さい。

④異常　：　点灯した場合は、5)．非常停止方法」に従い、本商品の非常停止ボタンを押して速やかに停止して下さい。

使用中は排気口に手を近づけないで下さい。やけどをする恐れがあります。

4). 装置の停止　　・・・　本商品を停止し、電力の供給を終了します。

① 接続している電気製品の電源をＯＦＦにして、電気製品の電源プラグを本商品のコンセントから取り外して下さい。
② 本商品の開始/停止ボタンを押して下さい。
③ 開始／停止ボタンを押すと、電力の供給が停止し、終了処理が始まります。
④ 本商品の表示部の出力インジケータがゆっくりとした点滅に変わり、電力供給が終了したことを確認して下さい。

アドバイス

開始／停止スイッチを押すと、電気の供給終了処理が始まり、出力インジケータが早い点滅に変わります。
処理が終わると、出力インジケータがゆっくりとした点滅に変わり、しばらくすると消灯します。

⑤ 本商品の主電源スイッチを、ＯＦＦにして下さい。
⑥ 給電ガンのインジケータの消灯を確認し、給電ガンを、リリースボタンを押しながら、車両から取り外して下さい。

アドバイス

- 開始/停止ボタンを押して本商品を一旦停止させると、再度開始/停止ボタン押しても電力供給を再開しません。
  再度使用するときは主電源をＯＦＦにして、「2)装置の起動」に従い最初からやり直して下さい。
- 電源停止の際、表示ランプがチラつく事がありますが故障ではありません。
- 給電ガンのインジケータが赤く点灯している時には、給電ガンを車両から取り外すことができません。

5). 非常停止　　・・・　異常表示が点灯、もしくは異常を感じた場合に、速やかに停止して下さい。

① 本商品の非常停止ボタンを押して下さい。
② 本商品の表示部の全インジケータが消灯したことを確認し、主電源スイッチをＯＦＦにして下さい。
③ 車両のパワースイッチが、ＯＦＦになっているのを確認して下さい。
④ 給電ガンのインジケータが消灯していることを確認し、リリースボタンを押しながら、給電ガンを車両から
　取り外して下さい。
⑤ 接続している電気機器の電源をＯＦＦにして、電気製品の電源プラグを本商品のコンセントから取り外して下さい。

⚠注意

非常停止ボタンは、異常が発生した時のみ使用して下さい。

アドバイス

- 非常停止を解除するには、もう一度押して下さい。
- 非常停止ボタンを解除後、電源を再投入しても正常に動作しない場合は、三菱自動車販売店にご相談下さい。

通常状態
非常停止状態

- 非常停止ボタンの上には、誤操作防止のために透明なカバーがついています。押すときは、カバーを上に
  押し上げて使用して下さい。

４．保管方法

1）本商品停止後は、十分に冷えてから片付けて下さい。

⚠警告

故障の原因になるだけではなく、火災を引き起こす恐れがあります。

2）上に物を乗せないで下さい。

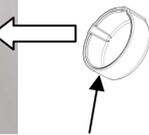
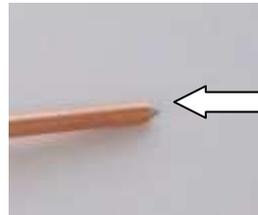
⚠注意

給電ガン及び給電ケーブルなどを、本体の上に置かないで下さい。本体や給電ガンが傷ついたり、破損する恐れがあります

3）横向きやひっくり返した状態では、保管しないで下さい。

4）車両の中で保管しないで下さい。

5）高温多湿になる場所は避け、ホコリがたまらないように保管して下さい。

6）給電ガンとアース棒は、付属のキャップを付けて保管して下さい。

５．メンテナンス方法

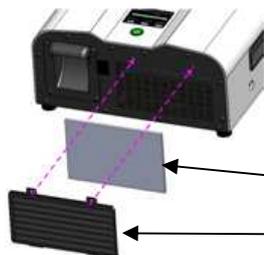
1）汚れた場合は、乾いた布で拭いて下さい。

⚠注意

本商品を、水洗いしないで下さい。内部の電気部品が、ショートする可能性があります。

2）吸気フィルターは、快適にご使用頂くために月に一度お手入れをして下さい。
長期間保管した後にお使いになる場合は、フィルターの汚れを確認して下さい。

アドバイス

・吸気口フィルターを点検する際は、下図参照の上、プラスドライバーでフィルターカバーのネジ２箇所を外して下さい。
・フィルターにホコリ、ゴミなどが詰まっている場合は、水または中性洗剤で洗浄し、自然乾燥させた後、再度取付けてご使用下さい。掃除機による吸引や油類の付着は避けて下さい。

3）吸気口フィルター、フィルターカバー、アクセサリーソケットヒューズを破損・紛失した場合、三菱自動車の販売店にご相談下さい。

６．故障かな？と思ったら

起動手順に従って操作しても正常に作動しないときは、次のことを確認して下さい。

本商品の電源が入らない場合は、

1) アクセサリーソケットケーブル、給電ガンがしっかりと車両に接続されているかを確認して下さい。

2) 車両のパワースイッチが、ＡＣＣになっているかを確認して下さい。

3) 非常停止ボタンが通常状態（ＯＦＦ）になっているかを確認して下さい。

4) 車両の駆動用バッテリーの残量を確認して下さい。
車両の残量計が 3 目盛以下だと電力の供給が開始できない場合があります。

5) アクセサリーソケットケーブルのプラグ内のヒューズが切れた場合は、電源がＯＦＦである事を確認し、
プラグの先端部を外して、中に入っているヒューズを交換して下さい。

参考）交換用ヒューズ仕様：
ガラス管ヒューズ、定格電圧１２５Ｖ、定格電流８Ａ
溶断特性Ｂ種、サイズ３０ｍｍ

⚠注意

指定以外のヒューズを使用しないで下さい。

使用する電気製品の電源が入らない場合は、電気製品の電源プラグが本商品のコンセントにしっかりと接続されているかを確認して下さい。

ご確認頂いても正常に作動しない場合は、お近くの三菱自動車の販売店で点検を受けて下さい。

本取扱説明書は、本商品の取扱いについて重要な注意事項が記載されています。
本商品をお譲りになるときは、必ず本取扱説明書も一緒にお渡し下さい。

※本商品は、製品改良やその他の理由により、予告なく仕様を変更することがあります。